

Business Report

[第90期 報告書]

2018.4.1-2019.3.31

P.01-04 トップインタビュー

2018年度は過去最高の業績を達成。
さらなる継続安定成長を実現し
トータルライフサポート企業への進化を目指します。

P.05-06 トピックス

P.07-08 連結財務情報

P.09-10 知っておきたい豆知識・会社概要

すべてはホスピタリティから。



Top Interview

2018年度は過去最高の業績を達成。
さらなる継続安定成長を実現し
トータルライフサポート企業への進化を目指します。

01

SAN HOLDINGS - Business Report



代表取締役会長

野呂 裕一

2018年度は、2017年度に引き続き、営業収益および営業利益以下の各利益について過去最高を更新いたしました。中期経営計画(2016~2018年度)に基づいて当初の方針通りに進めた結果、3年連続増収増益の目標を達成することができました。

中期経営計画において、さまざまな改革に取り組んできましたが、その結果としてお客様からの評価が向上したことは



代表取締役社長

播島 聡

もっとも喜ばしいことでもあります。特に公益社では、お客様の声を反映した「ベストサービス基準」を独自に策定し、サービスチェックや業務改善にあたるなど、お客様に寄り添った品質重視の取り組みが功を奏したと考えます。

また、2014年から着手した3つの大規模会館のリニューアルにつきましては、「公益社 天神橋会館」を2015年6月に、「公益社 西宮山手会館」を2016年8月に、「公益社 枚方会館」

を、2017年8月に建て替えオープンしたことで、事業所や事務所の移転・集約を含めた外部支払いコストの削減に成功、資産の有効活用を実現し利益改善効果を生む結果となりました。当初より取り組んできたグループ内のBPR(業務の全体見直し)と、継続課題であった「基盤整備」を完了し、この10年間で利益を生み出す体質への変革を果たせたと自負しております。

さらに「ライフエンディングサポート事業」につきましては、お客様のニーズに合ったサポートを提供するために葬儀後のサービスの幅を広げましたところ、お客様のご利用が順調に増えております。

「葬儀事業の積極的な営業エリアの拡大」につきましては、当初3年間で17会館のオープンを目標に設定しましたが、結果的には10会館の出店と未達に終わりました。しかしながら、出店の数を追うことよりも立地や投資対効果などの「質」を追求することを当グループの出店方針としており、今後も「質」重視の姿勢は変わりません。

また、2016年以降に2つの新規事業を立ち上げ、ラーメン店事業は「うまい麺には福来たる」というブランド名で現在、「西大橋店」「西中島店」「天五店」の3店舗を運営。一方、介護事業ではポシブル医科学(株)様とのフランチャイズ契約のもと、リハビリ特化型デイサービス施設「ポシブル箕面牧落

(大阪府箕面市)」「ポシブル池田(大阪府池田市)」が稼働し、専門職による利用者様に合った機能訓練プログラムを提供しています。

以上、総じておおむね計画通りに事業展開を成しえたことは、次に続く3年の新たな躍進につながると確信しています。

グループの進化を実現するために 経営理念を10年ぶりに刷新

今期から取り組む新中期経営計画(2019~2021年度)の発表に先立ち、経営環境の変化に合わせて10年ぶりに経営理念を見直すことになりました。新経営理念では今後の燦ホールディングスグループの方向性を示す「ミッション(使命)」「ビジョン(未来・目指す姿)」「バリュー(価値観)」の3項目を定めています。

ミッション「人生に潤いと豊かさを。よりよく生きる喜びを。」は、葬儀事業からライフエンディングステージのトータルライフサポート企業へ、さらには新規事業の展開へ、と新しい価値の創出に挑戦しつづけるグループの進化への思いを込めたスローガンです。私たちの商品やサービスを通して、お客様や地域の人々の人生に潤いと豊かさを感じてもらい、よりよく生きる

喜びを感じてもらい、それこそが当社が社会に果たすべき使命だということを表現しています。

本ミッションを完遂するために、私たちは「人の心に寄り添い、人生の喜びと幸せを創出する企業」「新しい価値、高い付加価値を創造し、持続的に安定成長していく企業」「一人ひとりが情熱を持って、主体的に行動し挑戦しつづける企業」というビジョンを掲げて新たな気持ちで業務改善に取り組んでまいります。

人生を主体的によりよく生きること、成長していくこと、そして、変化を恐れず挑戦しつづけること、進化していくこと——これらを燦ホールディングスグループのバリューとして位置づけています。

この新経営理念をグループの全員が共有することこそ、前進する力、今後の成長の大きな推進力になると考えています。

新たな中期経営計画を進め 継続的かつ安定的な成長を実現

超高齢社会と言われて久しくなりましたが、今後お亡くなりになる方の数は2040年をピークに増加することが予測される一方で、少子化が進み、日本の人口は減少傾向となって

おります。こうした社会情勢は葬儀における価値観にも影響し、近親者だけで行う家族葬や無宗教葬、一日葬など葬儀のスタイルが多様化し、同時に葬儀の小型化傾向が続いております。

また、自社で葬儀施行を行わないマッチングサービス企業が参入し、熾烈な競争状況を呈していますが、ネットを通じた情報の中に誤りが散見されることは、由々しき事態だと感じています。

葬儀の小型化傾向による葬儀単価の下落傾向は止まらず、さらには、当社の主な営業エリアにおきましても他社葬儀会館の新規出店が活況であり、事業環境は依然として厳しい状況です。

3年連続増収増益をもたらした成果と、なお解決すべき課題を踏まえたくえ、次の3年間をどのように舵取りすべきか、その指針となるのが以下の中期経営計画(2019~2021年度)です。

【新経営理念の浸透】 新中期経営計画を確実に完遂するためには、指針となる新しい経営理念の全社的浸透が最重要項目であると考えています。

【人財力の強化】 燦ホールディングス内に「人財教育部」を新設。人財こそ競争力の源泉であると考え、人材育成の体制をより強化し、外部人材の採用による人材確保も積極的に行ってまいります。

【サービス品質の向上】 徹底したこだわりをもってサービス品質の向上に取り組みます。お客様に喜ばれる高品質で付加価値の高いサービスの提供こそが同業他社との差別化につながると認識しています。

【業務効率の改善】 主として、お客様の目に見えないバックヤードでの業務について、内容や役割の見直し、IT化等により業務改善を図り、生産性の向上に取り組んでまいります。

【ライフエンディングサポート事業の拡充】 ライフエンディングステージにおけるトータルライフサポート企業への進化を目指して常にチャレンジをし、葬儀施行以外のサービスの拡充を図り、広範囲でお客様をサポートしてまいります。

【新規事業の収益力強化】 既存のラーメン店事業および介護事業については、ノウハウの蓄積を行いながら、収益力を高めてまいります。そして、新たな収益の柱となる事業の創出を目指します。

【葬儀事業の積極的な営業エリアの拡大】 東西の大都市圏を中心に、よりスピード重視のエリア拡大を計画しています。やみくもな拡大路線は取らず、マーケティングに基づいた投資対効果を意識した新規出店を進めます。

【リスクマネジメントの強化】 会社の持続的成長と中長期的な企業価値の向上を図るためにも、引き続きリスクマネジメント

を強化します。潜在リスクを想定・分析し、適切なリスクテイクの意思決定を行います。

以上の8つの項目を新中期経営計画に掲げ、さらなる挑戦と成長を目指して邁進してまいります。

ライフエンディングステージにおける トータルライフサポート企業へ

新たな中期経営計画に基づくこれからの3年間は、今まで以上にサービス向上を図りながらライフエンディングサポート事業の拡充を進め、他社との差別化をより鮮明に打ち出していきます。お客様の人生に潤いと豊かさを提供し、よりよく生きる喜びをお客様と分かち合いながら、ライフエンディングステージにおけるトータルライフサポート企業へと進化いたします。

私たちはお客様の気持ちに寄り添うスタッフの思いを軸に、常にお客様の満足を追求しながら事業を展開しております。また、業界では数少ない上場企業として責任と誇りをもって投資対効果を重視した経営を推進してまいりました。この姿勢こそが企業価値および株主価値を向上させ、配当を中心とした株主様への還元につながるものと考えます。株主の皆様には、今後も変わらぬご支援を賜りたく、改めてお願い申し上げます。

グループ中期経営計画(2019~2021年度)を 2019年5月9日に公表

経営環境の変化に合わせて10年ぶりに経営理念を見直し、ミッション(使命)、ビジョン(未来・目指す姿)、バリュー(価値観)の3つから成る経営理念を定めるとともに、「グループ中期経営計画(2019~2021年度)」を策定いたしました。

経営理念



財務目標

● 損益目標

	2019年度	2020年度	2021年度
営業収益	213.0億円	221.0億円	229.0億円
営業利益	28.1億円	29.0億円	30.3億円
売上高営業利益率	13.2%	13.1%	13.2%

● 資本効率目標

	3年後(2021年度)
総資本事業利益率(ROA)	8.5%以上

※事業利益=営業利益+営業外収益

基本方針

1 新経営理念の浸透

新経営理念で定めたミッションを果たし、ビジョンおよび中期経営計画を達成するために、経営理念の浸透に取り組む。

2 人財力の強化

変化の激しい環境の中、競争力の源泉である「人財」を強化する。

3 サービス品質の向上

サービス品質向上への取り組みを継続する。高品質で付加価値の高いサービスの提供が他社との差別化の最重要項目と認識し、徹底したこだわりをもってサービス品質向上に取り組む。

4 業務効率の改善

業務内容や役割の見直しおよびIT化等により業務改善を図り、生産性の向上に取り組む。

5 ライフエンディングサポート事業の拡充

ライフエンディングステージにおけるトータルライフサポート企業へ進化していくために、事業の拡充を図る。

6 新規事業の収益力強化

長期的な展望のもとで、燦ホールディングスグループの新たな柱となる事業創出のためのチャレンジを継続する。立ち上げた事業については収益力を高め、早い段階での利益貢献を果たす。

7 葬儀事業の積極的な営業エリアの拡大

東西の大都市圏を中心に、よりスピードを重視したエリアの拡大を行う。

8 リスクマネジメントの強化

リスクマネジメントの強化を継続する。事業環境の変化に対応するための適切なリスクテイクの意思決定に基づく会社の持続的成長と中長期的な企業価値の向上を図る。

葬儀事業

2018年度は3会館を新たにオープン

積極的な営業エリア拡大に取り組み、中期経営計画最終年度にあたる2018年度は、新たに3会館をオープンし、2016年度から2018年度までの3年間で10会館をオープンいたしました。

2018年
12月15日に
新設オープン



公益社会館 津久野

大阪府堺市西区津久野町1丁11-6
JR阪和線「津久野」駅 徒歩約3分

2019年
2月18日に
新設オープン



公益社 上板橋会館

東京都板橋区上板橋2-3-2
東武東上線「上板橋」駅 徒歩約5分

2019年
3月25日に
新設オープン



公益社 吉祥寺会館

東京都武蔵野市吉祥寺本町3-1-10
JR中央線・総武線・京王井の頭線「吉祥寺」駅 徒歩約8分

新規事業
(飲食事業)

「うまい麺には福来たる」3号店をオープン



2016年10月に新規事業としてスタートしたラーメン店「うまい麺には福来たる」は、西大橋店(大阪西区)、西中島店(大阪市淀川区)に続いて、3号店となる天五店をオープンいたしました。

うまい麺には福来たる



天五店



大阪市北区天神橋5丁目7-8 山田ビル1階
JR大阪環状線「天満」駅 徒歩約3分
大阪メトロ堺筋線「扇町」駅 徒歩約4分

<http://www.umaimenpuku.jp>

【営業時間】(昼) 11:30~15:00
(不定休) (夜) 18:00~22:00

うまい麺には福来たる

検索

当店人気メニュー



連結財務情報

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)		前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
[資産の部]			[負債の部]		
流動資産	5,699	6,650	流動負債	3,256	3,792
●現金及び預金	4,781	5,611	営業未払金	811	1,017
営業未収入金	618	650	1年内返済予定の長期借入金	170	919
商品及び製品	94	101	未払金	515	718
原材料及び貯蔵品	44	41	賞与引当金	499	523
その他	159	244	その他	1,258	613
固定資産	24,461	24,676	●固定負債	2,649	1,464
●有形固定資産	21,889	22,362	長期借入金	945	25
建物及び構築物	8,842	9,375	厚生年金基金解散損失引当金	690	-
土地	12,344	12,344	その他	1,013	1,439
建設仮勘定	126	32	負債合計	5,905	5,256
その他	575	610	[純資産の部]		
無形固定資産	104	89	●株主資本	24,255	26,070
投資その他の資産	2,468	2,223	資本金	2,568	2,568
資産合計	30,161	31,326	資本剰余金	5,488	5,488
			利益剰余金	17,212	19,027
			自己株式	△ 1,013	△ 1,014
			●純資産合計	24,255	26,070
			負債純資産合計	30,161	31,326

現金及び預金

新規会館投資および既存会館のリニューアル投資等の資金需要に内部資金で対応したものの、営業収益の増加によって、現金及び預金が8億29百万円増加。

有形固定資産

減価償却が7億41百万円進んだものの、3会館(「公益社会館 津久野」2018年12月、「公益社 上板橋会館」2019年2月、「公益社 吉祥寺会館」2019年3月)を新設オープンし、さらに今後オープン予定の資産取得等により、有形固定資産が4億73百万円増加。

純資産

当期純利益の計上21億12百万円、剰余金の配当2億97百万円により、18億14百万円増加。自己資本比率は83.2%(前連結会計年度末に比べ2.8ポイント増)。

営業収益

グループ中核の㈱公益社においては、葬儀件数が減少したものの、葬儀単価が上昇し、前期比3.2%増収。㈱タレイは葬儀件数の増加により前期比7.5%増収。㈱葬仙も葬儀件数の増加により前期比1.1%増収。この結果、営業収益は前期比3.5%増収。

営業利益

直接費および人件費、広告宣伝費が増加したものの、営業収益の増加により、営業利益は前期比10.6%増。

経常利益

昨夏の自然災害(大阪北部地震および台風20号・21号)に関する受取保険金43百万円を営業外収益に、被害に対する補修工事等の災害損失43百万円を営業外費用に、それぞれ計上。厚生年金基金の特例解散に伴う負担額の確定に伴い、厚生年金解散損失引当金戻入益21百万円を営業外収益に計上。その結果、経常利益は前期比10.8%増。売上高経常利益率は14.1%。

特別利益

2012年4月導入の転進支援制度を2018年8月31日付で廃止したことに伴い、退職給付制度終了益1億42百万円を計上。

Consolidated Financial Highlights

連結業績の推移

第2四半期 期末

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 〔2017年4月1日～ 2018年3月31日〕	当連結会計年度 〔2018年4月1日～ 2019年3月31日〕
営業収益	20,070	20,766
営業費用	16,092	16,484
営業総利益	3,977	4,282
販売費及び一般管理費	1,319	1,342
営業利益	2,658	2,940
営業外収益	20	95
営業外費用	27	98
経常利益	2,650	2,936
特別利益	3	145
特別損失	189	63
税金等調整前当期純利益	2,464	3,018
法人税、住民税及び事業税	999	617
法人税等調整額	△ 107	289
親会社株主に帰属する当期純利益	1,573	2,112

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 〔2017年4月1日～ 2018年3月31日〕	当連結会計年度 〔2018年4月1日～ 2019年3月31日〕
営業活動による キャッシュ・フロー	3,551	2,695
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 984	△ 1,281
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 397	△ 583
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	2,169	829
現金及び現金同等物の 期首残高	2,612	4,781
現金及び現金同等物の 期末残高	4,781	5,611

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

営業収益

(単位:百万円)



経常利益

(単位:百万円)



四半期(当期)純利益

(単位:百万円)



(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社概要 2019年3月31日現在

商号 燦ホールディングス株式会社
 本社所在地 大阪本社
 〒530-0041
 大阪市北区天神橋4丁目6番39号
 東京本社
 〒107-0062
 東京都港区南青山1丁目1番1号
 新青山ビル西館14階

創業 1932(昭和7)年8月

資本金 25億6,815万円

事業内容 持株会社事業
 不動産事業
 管理業務受託事業

グループ会社 葬祭事業
 株式会社公益社 <首都圏・近畿圏>
 株式会社葬仙 <山陰地方>
 株式会社タライ <兵庫県南部>
 葬祭関連事業およびその他の事業
 エクセル・サポート・サービス株式会社
 警備業および施設管理・清掃業・料理事業・葬祭事業
 飲食事業・介護事業

役員 2019年6月25日現在

代表取締役会長	野呂 裕一	常勤監査役	秦 一二三
代表取締役社長	播島 聡	監査役(社外)	本間 千雅
取締役専務執行役員	宮島 康子	監査役(社外)	三上 祐人
取締役常務執行役員	的羽 元司		
取締役(社外)	原田 雅俊		
取締役(社外)	末川 久幸		

経営理念 2019年4月制定

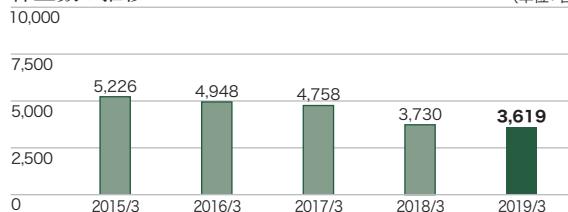
人生に潤いと豊かさを。
 よりよく生きる喜びを。

株式の状況 2019年3月31日現在

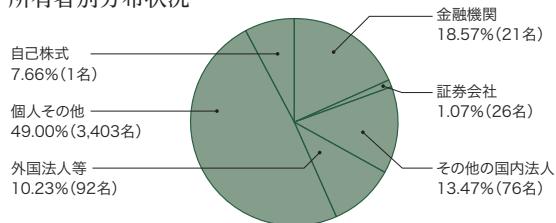
発行可能株式総数 21,000,000株
 発行済株式の総数 6,082,008株

株主数の推移

(単位:名)



所有者別分布状況





<https://www.san-hd.co.jp>

当社のホームページにおきましても
IR情報および会社情報をお知らせしております。



燦ホールディングス株式会社
SAN HOLDINGS

株主メモ

証券コード/9628
事業年度/毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会/毎年6月
基準日/定時株主総会 毎年3月31日
/期末配当金 毎年3月31日
/中間配当金 毎年9月30日(その他必要あるときは、あらかじめ公告して定めます。)

単元株式数/100株
株主名簿管理人および/〒100-8233 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人/〒540-8639 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先/〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先/☎0120-782-031
インターネットホームページURL/<https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>
公告方法/電子公告

(ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。)

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、株主様の口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)をご利用されなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

※この冊子についてのお問い合わせは、下記IR専用電話番号までお願いいたします。

お問い合わせ先 IR担当/TEL.06-6226-0038 FAX.06-6881-3340

E-mail ir@san-hd.co.jp

UD FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。